

経営方針

● 経済価値と社会価値を両輪として企業価値向上を図り、電子部品メーカーとして存在意義のあるポジションを目指す。

従業員の健康課題

● 従業員の健康意識、健康行動の浸透

- ・活力向上
- ・良好な睡眠の向上
- ・歩行習慣ありの向上
- ・二次検査受診率向上
- ・特定保健指導実施率向上

● 従業員がポテンシャルを発揮するための環境

- ・健康データ収集、分析の整備

健康投資

Focus (※採掘優先)

＜セルフケア対策＞
自らが心と身体の健康に向かって行動する

- ・ストレスチェック結果の活用
- ・歩行習慣向上活動の推進
- ・セルフケア実践支援の強化

Base (重症予防)

＜リスク対策＞
健診結果に応じた働きかけ

- ・保健指導の実施
- ・健康診断結果の活用
- ・特定保健指導の実施

Pillar (組織対策)

＜健康風土醸成＞
健康を促す文化を組織に根づかせる

- ・経営層方針の発信（タウンホールミーティング）及び浸透
- ・家族と連携した健康づくりの推進
- ・組織FB活動の推進

＜グループ各社＞
健康経営の水準を高める施策

- ・グループ会議の活用
- ・コラボヘルス強化
- ・健康管理システムの活用
- ・テーマ検討会の開催
- ・健康ガイドブックの作成

健康投資の効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標	従業員の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
ストレスチェック受検率	活気のポジティブ回答率	心の健康度
歩行習慣向上イベント参加率	Focus 5獲得ポイントかつ高ストレス者率	
e-learning受講率 意識度調査回答率	特定保健指導実施率	身体の健康度
特定保健指導の受診勧奨率	二次検査受診率	アブセンティーズム
二次検査受診勧奨率	疾病（血糖・血圧）管理良好者率	
ハイリスク者の対応実施率		

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援等
経営層・管理職からの健康の発信	国内グループ 健康優良法人認定継続	健康リスク値（上司・同僚の支援）
健康経営浸透度チェックリストでの評価		職場の一体感

健康風土の醸成

健康経営の推進方針

- 私たちの『今』『これから』の健康をスローガンに、組織的な推進体制のもと、社員が自分の力を存分に発揮できる「心」と「身体」の状態を実現する。
- 「健康」の枠にとどまらず、多面的な効果を生み出すことで、太陽誘電が掲げるHRウェルビーイング実現の大きな基盤となる。

目標年：2030年

健康経営の目標	● 従業員のポテンシャルを最大化
KGI	● 主観的イキイキ度（80%以上）

※タウンホールミーティング：経営層と従業員が対話する機会
 ※活気、職場の一体感、健康リスク：ストレスチェック集団分析結果より
 ※主観的イキイキ度：ストレスチェックと一緒に測定するプレゼンティーズムの逆数
 ※心の健康度、身体の健康度：年2回実施するエンゲージメントサーベイで測定